

2015年7月創刊、日吉・綱島・高田エリア向け「地域インターネット新聞」のダイジェスト版です

ネットで注目の話題

<http://hiyosi.net>

シニアの就労やボランティア先を紹介 市が「支援スポット」



「アピタテラス」の荏田綱島(日吉元石川)線沿い1階に設けられる

3月下旬に綱島SST(Tsunashimaサスティナブル・スマートタウン)の「まちびらき」とスーパー「アピタテラス」の開店

を控え、同店建物内に横浜市の公共施設「港北区生きがい就労支援スポット」が新たに設けられます。

これはシニア層の社会参加を手助けする事業で、何らかの就労やボランティアを希望する人と、人手不足感が続く周辺企業や店舗、子育て・高齢者施設などを橋渡しする存在。少子高齢化が進む地域社会のなかで、重要な役割を担うことになりそうです。

同スポットは2015年12月に市のモデル事業として金沢区で始まり、今回の綱島が市内で2カ所目。金沢区の運営はシルバー人材センターが行っていますが、港北区では人材サービス大手のパソナが担当するのが特徴で、幅広い就労先やボランティア活動を開拓していきたい考えです。

アピタテラス内1階に事務所を開設し、3月30日から相談の受付を開始。電話(045-947-2475)で予約のうえ訪問すると、「一人ひとりに寄り添いながら、ニーズに合わせた先を紹介していく」(市健康福祉局)としています。

受付時間は10時から18時までで、日曜日と年末年始は休業。利用は無料で、横浜市民に限られるとのことです。

地域のニュース

● 旧アピタ日吉店跡地でマンションなど着工へ

旧アピタ日吉店など一連の跡地で野村不動産が進める再開発は、日大高校寄りの「A工区」でマンション(20階建て362戸)などを3月中にも着工したい考えです。今後三段階で建築工事を行い、全体の完成は2022年3月を予定しています。

● グリーンラインが開業10周年 装飾列車も

3月30日に2008年の開業から10周年を迎える市営地下鉄「グリーンライン」では、これを記念した「装飾列車」の運転が始まりました。同路線は開業10年を経て利用者が大幅に増加しており、混雑緩和に向け2022年以降には一部列車の6両編成化も段階的に計画されています。



旧横浜市電を模した列車

● 北綱島～綱島交差点で綱島街道の拡幅着手

綱島街道の拡幅は、北綱島交差点から綱島交差点まで約1km区間で行われることが決まりました。用地取得などで完成には長期間を要するものの、市では平成34年度(2023年3月末)までに「一定の事業効果が得られるよう進捗を図る」としています。

街のトピックス

男性向けに「セカンドライフカレッジ」

日吉本町地域ケアプラザと下田地域ケアプラザは、70歳までの男性を対象にした「男のセカンドライフカレッジ」を4月19日から6月18日まで月2回・全6回にわたって開きます。セカンドライフの入門からプロが教える珈琲やビール講座、ジム体験、日吉の歴史、認知症予防まで多彩な内容で昼食代込み4800円。詳細は下田地域ケアプラザ(045-563-9081)へ。

日付	テーマ	会場
4/19 (木)	「セカンドライフカレッジ」 二 男子は転職も辞めろ 講師: 佐藤 浩一	下田地域 ケアプラザ
4/26 (木)	プロから学ぶコーヒーの楽しみ / 日吉の歴史とまち歩き 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
5/7 (月)	地方製パンの基礎 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
5/14 (月)	ビール講座: 日吉の歴史と まち歩き 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
5/21 (月)	認知症予防 / 予防法を学ぶ 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
5/28 (月)	認知症予防 / 予防法を学ぶ 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
6/4 (日)	認知症予防 / 予防法を学ぶ 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ
6/11 (日)	認知症予防 / 予防法を学ぶ 講師: 山本 浩一	日吉本町 地域ケアプラザ

各分野から専門家を多数招く

ひ 発行者からお知らせ

日吉・綱島・高田のインターネット新聞「横浜日吉新聞」の「紙版」として7回目の発行となりました。2018年は不定期に発行してまいります。ご愛読のほどお願い申し上げます。

【発行元】一般社団法人 地域インターネット新聞社
横浜市西区北幸1-11-1 水信ビル7階

【裏面もご覧ください】

日吉中央通りで無料相談会が満10周年、行政に関する相談も

日吉に在住し24年。地域に根差した活動を行うことで知られる「行政書士・海事代理士 加賀雅典(まさのり)法務事務所」(日吉本町5)を営む加賀雅典さんが、日吉中央通りで開催している無料相談会が、2017年11月で満10周年を迎えました。加賀さんは、“海のスペシャリスト”として法務相談・手続を行う海事代理士としても活躍するほか、同4月からは、国(総務大臣)から「行政相談委員」として委嘱を受け、行政に関する相談も受け付けています。

● 港北区内で無料相談会の「さきがけ」

加賀さんは、毎月2回、日吉本町東町会会館(日吉本町1・日吉駅から徒歩5分)で、「無料法務相談会」を開催しています。この無料相談会を今から10年前にスタートした頃は、日吉を始め、港北区周辺では同様の相談会はなかったとのこと。「当初から、非常に多くの相談者が訪れてくれました」と、加賀さんは順調な滑り出しだった懐かしい当時を振り返ります。



無料相談会のようす。女性からの相談がおおむね6割くらいとのこと。「この相談会を通じて、何か満足して帰ってもらえれば」と加賀さん(加賀雅典法務事務所提供)

相続・遺言や贈与、成年後見、財産管理、見守り契約、死後の事務、起業や各種事業、離婚問題、契約書作成、外国人ビザなど、多岐にわたる相談内容に対応していますが、2015年に相続税制の改正が行われてからは、特に相続や相続対策の相談が激増。最近では、自身の財産や家庭内の問題で子連れで訪れる人、起業での会社設立の相談など、若年層の利用も増えています。

この相談会の特徴は「本当の無料」にこだわっている点。時間制限や回数制限を「あえて」行っていないといえます。

● ボート免許復活など「海事法務」相談も



港北区内で唯一、一般社団法人日本海事代理士会に所属

加賀さんは、海事手続を行う海事法令の専門家としての「海事代理士」の国家資格も保有。失効したボート免許の復活についての相談など、海事にまつわる幅広い法務相談も受け付けているとのこと。



無料相談会場の日吉本町東町会会館(日吉駅から徒歩約5分)

● 区役所で2カ月に1度の「行政相談会」

現在、港北区に3名のみの「行政相談委員」のうち、加賀さんは唯一の男性相談員として活躍中。「行政相談委員」は、国民の相談相手として行政サービスに対する苦情や、行政の仕組み、手続に関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や、関係行政機関に対する通知などの業務を行う人のこと。1966年制定の「行政相談委員法」で定められました。

行政相談会の様子



2017年4月から「行政相談委員」に

行政相談委員に相談できる機会は、個別相談のほか、主に2カ月に1度(奇数月の第2火曜日)、13時から15時まで、港北区役所(大豆戸町)で開催される「定例相談会」や商業施設などで開催される「特設相談会」。

「これまでの職務上での経験をフルに活かそうと努めています。ぜひ、「どこに相談していいかわからない」困り事は行政相談委員へ」と、行政相談会への来訪・利用を呼び掛けています。

● 行政書士・海事代理士 加賀雅典法務事務所

日吉本町5丁目67番11-1号(地下鉄日吉本町駅・徒歩5分)
 電話: 045-564-9103 執務時間: 平日10:00~18:00
 ホームページ: <http://office-kaga.com/>
 E-mail: info@office-kaga.com
 ※ 休日、夜間出張訪問対応可(予約制)



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi_net)は5,900人のフォロワー、フェイスブックは「いいね!」が2,000を超えました

